

1. 事務事業の目的・概要

|          |      |      |              |
|----------|------|------|--------------|
| 事務事業担当課長 | 桑本幸夫 | 電話番号 | 0852-22-5167 |
|----------|------|------|--------------|

|         |  |   |  |
|---------|--|---|--|
| 事務事業の名称 | 林業普及指導事業   |   |  |
| 目的      | (1) 対象   | 森林所有者、森林組合、林業・木材関係事業者、特用林産物生産者、林業従事者、市町村等     |  |
|         | (2) 意図   | 林業技術の向上、林業経営の合理化、適正な森林整備の推進により森林の多面的機能を発揮させる。 |  |
| 事業概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>森林所有者等に対する森林・林業に関する技術の普及、指導及び情報提供、地域の実情に適合した技術体系等の定着支援</li> <li>林業普及指導員の育成及び養成</li> </ul> |   |  |

2. 成果参考指標

| 成果参考指標名等 |      | 年度                    | 27年度  | 28年度  | 29年度  | 30年度  | 31年度  | 単位  |
|----------|------|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 1        | 指標名  | 森林経営計画に基づく原木生産量       | 目標値   | 166.0 | 191.0 | 214.0 | 239.0 | 千m3 |
|          |      |                       | 取組目標値 |       |       |       |       |     |
|          | 式・定義 | 森林経営計画に基づいて生産された原木生産量 | 実績値   | 164.0 |       |       |       |     |
|          |      |                       | 達成率   | -     | -     | -     | -     | %   |
| 2        | 指標名  |                       | 目標値   |       |       |       |       |     |
|          |      |                       | 取組目標値 |       |       |       |       |     |
|          | 式・定義 |                       | 実績値   |       |       |       |       |     |
|          |      |                       | 達成率   | -     | -     | -     | -     | %   |

3. 事業費

|            | 前年度実績  | 今年度計画  |
|------------|--------|--------|
| 事業費(b)(千円) | 15,648 | 15,348 |
| うち一般財源(千円) | 9,186  | 9,119  |

4. 改善策の実施状況

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む) |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

林業事業体に対して車両系作業システム及び架線系作業システムの改善指導を行うとともに、農林大学校・労働力確保支援センターと連携して森林作業道現地研修等の研修会を開催し、作業技術者の技術向上を図った結果、森林経営計画に基づく木材生産量は、H26年度123千m<sup>3</sup>からH27年度は164千m<sup>3</sup>と4.1千m<sup>3</sup>の増加となった。  
今後、森林経営計画の策定とそれに基づく木材生産を計画的に進めるためには、林業事業者等への指導にあたる林業普及指導員の育成、養成を図る必要がある。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

- 作業システムの見直しに向けた調査、検討を中山間地域研究センターと協力して実施し、コスト分析シートを作成した。
- 苗木生産者に対する研修会、技術指導により苗木増産につながった。
- 苗木生産者の掘り起しに取り組んが結果、新規生産者の確保につながった。
- 中山間地域研究センターと連携して、林業普及員指導員の資質向上研修や分野ごとの専門研修を実施した。
- 林野庁等が開催する中央研修に積極的に林業普及員を派遣した。
- 林業普及指導員資格試験受験者を対象とした対策講座を開催した。

H27年度林業普及指導員資格試験合格者  
 ・地域森林総合管理 7名  
 ・一般林業 10名

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」  
 ・林業事業者等からの高度化・多様化する要求に応えられる林業普及指導員が不足している。

②困っている状況が発生している「原因」  
 ・木材生産技術の効率化・高度化、再造林の低コスト化、木材加工技術の高度化・高付加価値化など、林業普及指導員に求められる内容が高度化・多様化している。  
 ・また、林業・木材産業が地域における成長産業の一つとして確立できるよう、様々な角度から施策展開を図ることが重要となっている。  
 ・こうした中、林業普及指導員資格を持たない職員や普及指導経験が少ない林業普及指導員が増えている。

③原因を解消するための「課題」  
 林業普及指導事業においても成長産業化に必要な新しい知識・技術を常に習得させていくことが求められていることから、次の取り組みを実施する必要がある。  
 ・新規林業職員に対して計画的に林業普及指導員資格を取得させる。  
 ・林業事業者等の要求レベルが高度化してきており、これらの要求に応えられるよう林業普及指導員のレベルアップを図る。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

上記課題の解決に向け、林業職員の育成方針と研修体系を策定し、それに基づいた取り組みを実施することにより、普及指導事業の充実を図る。

【取り組みの具体例】  
 ・新規林業職員を対象とした研修や各職場でのOJT研修の充実。  
 ・林業普及指導員を対象とした各種専門研修の充実。  
 ・研究部門と普及部門の連携強化による、研究途中の課題も含めた両部門の情報交換と研修の充実。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)